

平成 27 年度 七戸町橋梁点検結果

1. 点検実施状況

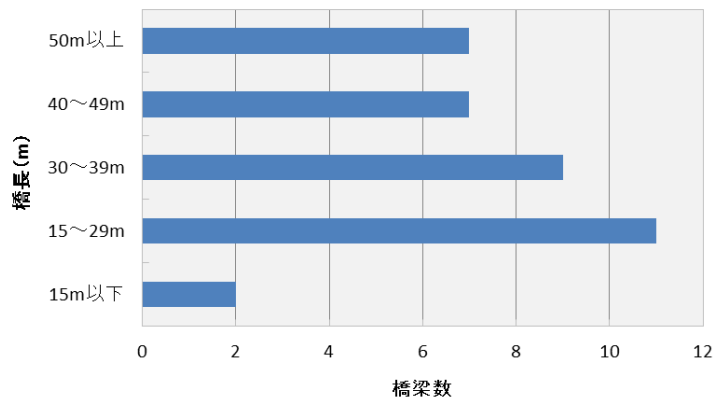
平成 27 年度に実施した橋梁点検 36 橋の橋長等の集計を図-1 に示す。

◆橋長は 29m 以下が 5 橋、30～49m が 27 橋、50m 以上が 4 橋である。

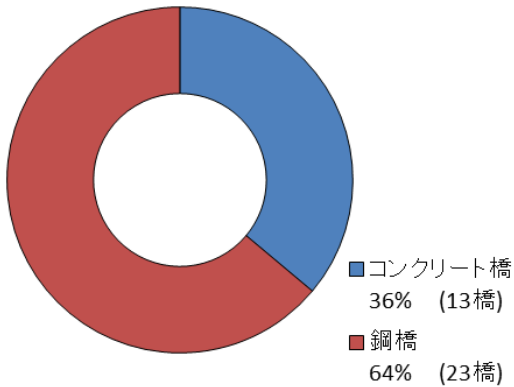
◆橋種はコンクリート橋が 13 橋、鋼橋が 23 橋ある。

◆架設後、経過年数は 40～49 年の橋梁が最も多く 17 橋になる。
新しいもので 8 年経過したものが 1 橋、古いもので 59 年経過した橋梁が 2 橋ある。

橋長分布図



橋種別橋梁割合



架設後経過年数別橋梁割合

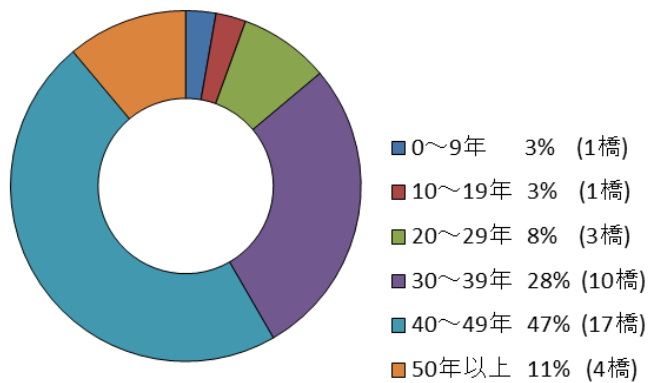


図-1 平成 27 年度橋梁点検の内訳

2. 損傷状況

平成 27 年度に実施した橋梁点検 36 橋の損傷については以下の傾向が見られる。

◆コンクリート橋では、コンクリートのはく離・鉄筋露出、ひびわれが確認された。また、一部では凍害による劣化も見られた。

◆鋼橋では、鋼部材の防食機能劣化・腐食が確認された。

◆防護柵の劣化、排水柵への土砂堆積が見られる。

表-1 健全度一覧表

橋梁名	主桁	横桁	床版	橋脚	橋台	支承	音産 モルタル	落橋防止 装置	伸縮装置	高欄	防護柵	地覆	緑石	排水ます	排水管	点検施設	添架物	備考
白石橋	4.0	4.0	3.8	4.0	3.8	3.3	4.1	-	4.0	3.8	3.5	4.0	4.0	4.0	4.0	-	4.0	鋼材の腐食
鳥谷部橋	5.0	5.0	3.8	-	4.3	5.0	5.0	-	3.3	-	4.0	4.0	-	3.5	5.0	-	3.5	コンクリートの劣化
貝塚橋	5.0	5.0	4.0	3.5	3.8	5.0	5.0	-	4.0	5.0	5.0	4.0	4.0	4.0	5.0	-	5.0	コンクリートの劣化
榎林橋	5.0	5.0	3.6	3.5	3.5	5.0	5.0	-	4.0	-	5.0	3.8	-	4.0	5.0	-	-	コンクリートの劣化
小又橋	3.0	-	3.3	2.5	3.0	2.8	2.1	-	4.0	-	3.0	3.5	-	4.0	3.5	-	-	コンクリートのASRIによる劣化
所橋	5.0	5.0	3.8	-	4.0	5.0	5.0	-	3.5	-	5.0	3.5	-	4.0	5.0	-	5.0	伸縮装置の損傷
倉岡橋	3.6	3.3	3.6	4.0	3.5	2.0	5.0	-	3.0	-	5.0	4.0	-	-	5.0	-	5.0	コンクリートの劣化
左船橋	3.9	3.7	3.9	3.3	3.8	2.0	5.0	-	目視不可	-	2.4	3.3	-	-	2.8	-	3.0	コンクリートの劣化
西野橋	4.0	3.9	3.7	4.0	3.3	3.1	1.3	-	3.7	3.5	3.5	4.0	3.5	4.0	3.7	-	3.5	鋼材の腐食
昭和橋	5.0	5.0	3.8	3.3	3.5	5.0	2.4	-	4.0	-	5.0	4.0	-	4.0	5.0	-	4.5	コンクリートの劣化
宇道坂橋	4.0	4.0	3.5	-	4.0	4.0	5.0	-	目視不可	-	3.5	4.0	-	4.0	4.0	-	3.5	鋼材の腐食
和田橋	5.0	-	3.6	-	3.6	5.0	5.0	-	4.0	-	4.0	4.0	-	4.0	4.0	-	-	コンクリートの劣化
砂子田橋	4.0	4.0	3.8	-	4.0	3.3	-	-	-	-	3.0	4.0	-	-	2.0	-	4.0	鋼材の腐食
作田橋	5.0	5.0	3.4	4.0	3.7	5.0	2.5	-	-	-	5.0	4.0	-	-	5.0	-	-	コンクリートの劣化
和田下橋	5.0	5.0	3.3	3.3	4.0	5.0	1.7	-	-	-	5.0	3.5	-	-	5.0	-	-	コンクリートの劣化
治部袋橋	3.8	4.0	3.8	-	3.8	2.7	-	4.0	5.0	-	3.5	3.5	-	4.0	3.5	-	4.0	鋼材の腐食
銀南木橋	4.0	4.0	4.0	-	3.9	4.8	5.0	-	2.3	-	4.0	3.0	-	-	5.0	-	4.0	コンクリートの劣化
小川橋	3.3	3.5	3.9	3.0	4.0	2.0	2.4	-	4.0	-	3.0	3.3	-	4.0	3.3	-	-	鋼材の腐食
向中野橋	5.0	5.0	3.9	-	3.5	5.0	4.5	-	4.0	5.0	5.0	3.5	3.0	4.0	5.0	-	-	コンクリートの劣化
白岩橋	3.9	3.9	4.0	-	4.0	5.0	5.0	-	1.0	-	4.0	4.0	-	-	5.0	-	-	コンクリートの劣化
原子橋	3.8	4.0	3.8	4.0	3.8	4.9	5.0	-	2.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.5	2.0	-	4.0	コンクリートの劣化
長坂橋	3.4	3.5	3.3	3.5	3.8	2.8	3.0	-	4.0	-	3.5	3.4	-	4.0	3.5	-	-	鋼材の腐食
仙洞橋	3.8	-	3.6	-	4.0	3.0	5.0	-	4.0	-	4.0	4.0	-	4.0	3.5	-	3.5	鋼材の腐食
上田橋	4.0	4.0	4.0	-	4.0	5.0	5.0	-	4.0	-	4.0	3.5	-	4.0	2.5	-	-	コンクリートの劣化
原久保橋	5.0	5.0	3.6	-	4.0	4.0	5.0	-	4.0	-	4.0	4.0	-	3.1	5.0	-	3.5	コンクリートの劣化
山館橋	3.9	3.7	4.0	-	4.0	5.0	3.5	-	3.0	-	4.0	3.5	-	-	3.0	-	-	コンクリートの劣化
一の坂橋	4.0	4.0	5.0	-	4.0	3.5	5.0	-	3.0	2.0	3.5	3.5	3.5	4.0	3.5	-	-	鋼材の腐食
花天橋	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0	5.0	4.0	5.0	5.0	4.0	4.0	4.0	4.0	-	-	特に問題なし
山鹿橋	4.0	4.0	4.0	-	4.0	5.0	4.8	-	4.0	-	4.0	4.0	-	4.0	4.0	-	-	特に問題なし
千刈橋	4.0	4.0	4.0	-	4.0	5.0	5.0	5.0	目視不可	5.0	5.0	4.0	4.0	5.0	4.0	-	-	特に問題なし
大林橋	3.8	4.0	4.0	-	3.8	2.5	3.5	-	-	-	5.0	3.5	-	-	5.0	-	3.0	コンクリートの劣化
大林橋側道橋(下)	3.0	3.5	3.0	-	3.6	2.0	3.0	5.0	-	3.5	4.0	4.0	4.0	3.0	3.5	-	-	鋼材の腐食
柏葉橋	5.0	5.0	3.9	3.0	3.1	3.0	4.0	5.0	4.0	-	5.0	3.0	-	4.0	5.0	-	5.0	コンクリートの劣化
柏葉橋側道橋(上)	4.0	4.5	3.8	3.0	3.2	4.0	4.0	5.0	4.0	4.0	4.0	4.0	-	4.0	5.0	-	-	コンクリートの劣化
柏葉橋側道橋(下)	5.0	5.0	5.0	3.5	4.0	5.0	4.0	4.5	4.0	4.0	-	4.0	-	4.0	5.0	-	-	コンクリートの劣化
315の1号橋	4.0	4.0	-	-	4.0	-	-	-	-	-	4.0	4.0	-	-	-	-	-	特に問題なし

コンクリート橋
鋼橋

健全度	健全度の定義
5.0: 潜伏期	外観上の変状が見られない
4.0: 進展期	変状・劣化が始まる期間
3.0: 加速期前期	変状が発生する段階
2.0: 加速期後期	変状が多数発生する段階
1.0: 劣化期	変状が多数発生し、機能が低下する段階



写真-1 主桁の劣化状況



写真-2 床版のはく離・鉄筋露出



写真-3 橋脚の劣化状況



写真-4 支承の劣化状況



写真-5 防護柵の損傷



写真-6 排水柵の土砂詰り